来場者へ声掛け

来場者へ説明

ご参加いただいた青年部役員の皆様

編集後記

廣田会長の挨拶でもありました通り、令和 6 年 8 月に金沢総会を無事に開催する事ができました。ご臨席いただいた皆様、ご協賛いただきました賛助会員の皆様、地元企業の皆様には深く感謝申し上げます。また橋本総業様のみらい市でも色々な各企業の皆様とご挨拶させていただき改めて繋がりに感謝いたします。

今後も青年部らしく活発に活動していきたいと思いますので引き続き皆様方のご指導を宜しくお願い申し上げます。

総務部会長　増田　喬歳（埼玉）

発行所／全管連青年部協議会　〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-30-10 全管連会館2F　TEL 03(5981)8957　FAX 03(5981)8958

全管連青年部協議会

アヒルのたまご

https://www.zenkanrenjr.jp

令和7年（2025）1月15日 水曜日

No 82

2025年　年頭のご挨拶

廣田会長

新年あけましておめでとうございます。

皆様には令和 7 年の新春をお健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素より全国管工事業協同組合連合会青年部協議会の活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年 8 月、石川県金沢市にて開催された第 28 回通常総会には、全管連の藤川会長をはじめ、ご来賓や賛助会員の皆さまなど約 300 名にご臨席いただきました。当日の懇親会では、会場の皆さまから義援金を募り、チャリティーによる絵画の売上を合わせ、総額約 105 万円をお預かりいたしました。この義援金は、後日北國新聞社を通じて石川県へお渡ししております。令和６年１月に発生した能登半島地震からの復興への取り組みと並行して、総会準備に多大なるご尽力をいただきました石川県管工事協同組合青年部会の皆さまには、改めて心より感謝申し上げます。

能登半島地震を通じ、私たちは災害時における水道インフラの重要性を改めて深く認識いたしました。地震発生直後には多くの地域で断水が発生し、住民の生活や地域社会の機能に甚大な影響を及ぼしました。この経験から、災害時に水道の安定供給をいかに迅速に

復旧させるかが地域復興の鍵であることを深く実感し、水道業界が担う役割と責任の重大さを改めて再認識することとなりました。このことにより、日常的な設備の維持管理の重要性、そして有事に備えた対策の強化が必要不可欠であることを改めて思い知らされました。

建設業界全体が少子高齢化による労働人口の減少や担い手不足に直面する中、管工事業界においても人材育成と技術継承は喫緊の課題です。また、働き方改革関連法の適用やカーボンニュートラルへの取り組みなど、社会からの要請に応えるには、業界全体が一丸となり変革に向けた歩みを加速させる必要があります。

こうした状況の中で、青年部世代が様々な経験や体験を通じ、知識と知見を広げていくことは業界の発展に欠かせない要素です。各地域での活動や先進的な取り組みから学びや経験を深め、新たな価値を創造する力を育むことで、それが業界の未来を支える確かな土台となります。また、個々が得た発見や気づきを仲間と共有することで、幅広い視点が生まれ、時代の変化に合わせた柔軟な発想で課題解決に挑むことが期待されています。

近年、私たちは担い手確保を目的とした事業にも注力しています。業界のイメージアップや、全国各地の活動に関する情報収集・発信に加え、デジタル技術の活用や業務効率化を目指した改善にも積極的に取り組んでいます。現場で働く私たち青年世代だからこそ、非効率な部分や現場での課題、さらには働きやすい環境づくりに必要な改善点などを的確に捉え、新たな提案を生み出せるのではないかと考えています。管工事界の明るい未来を切り拓くため、全国の会員との連携を一層深め、新たな視点で変化を受け入れながら進化を続けてまいります。

本年も青年部ならではの柔軟性と行動力をもって、管工事業界の明るい未来を築き、社会的な役割を果たすための活動を推進してまいります。

最後になりますが、会員の皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げるとともに、親組合の皆様ならびに関係各位の皆様には、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会
会長　廣田　勝義

橋本総業主催・みらい市2024に全管連青年部が出展

10 月４日（金）から５日（土）までの２日間にわたり東京都江東区有明の東京ビッグサイトの東７、８ホールで橋本総業株式会社主催の「みらい市 2024」が開催されました。今年度も橋本総業株式会社のご好意により全管連を紹介することが出来る展示ブースをご提供頂き、出展を致しました。

この「みらい市」とは、本会賛助会員の橋本総業株式会社並びに関連メーカー、ディーラーにより組織されている「みらい会」が主催となって設備展示・即売会を毎年、全国各地で開催しており、この東京ビッグサイトのみらい市は出展社数 400 社、来場者数約 28,000 人（WEB 含む）となり全国で開催されるみらい市の中でも最も規模が大きいイベントとなりました。

今回の全管連のブースでは、今年全管連で作成し、全管連のホームページにも掲載されている、「令和 6 年　能登半島地震応急復旧応援動画」をメインに上映し、ブースの壁には、全管連会員組合の応急復旧活動報告パネル、新 3K の業界ポスター、令和 6 年度全管連スローガンポスターを掲示、展示物には、技能グランプリの優勝作品を展示しました。また管工事の仕事紹介動画のリーフレット版「管工事全書」を配布し、来場者の手に渡すことによって、全管連そして管工事業界をより広く紹介できました。

併せて今年度は、全管連で作成した漫画「命の水物語」をみらい市の会場に来ている、水道関係の経営者・学生さん・お母さんやお父さんと来ているお子様達に配布しとても好評でした。経営者の方からは、これから水道業界に入る人達に紹介しやすいし、この業界へ興味を持ってもらう為のきっかけとなりとても良いとの声をいただき、学生さんからは、電車を待っている時間など隙間時間に読めるので良い、お子様達からは、水道の作業着が気に入ったのか、絵がかわいい、私も見たい・私も欲しい等、漫画「命の水物語」に対して、好評の声を多数いただき業界の PR に繋がりました。

最後に、全管連ブースにお立ちより頂いた全管連の皆様、関係各位の皆様、またブースを御提供して頂きました橋本総業株式会社様に対しまして、御礼を申し上げ致します。

みらい市 2024 開催

全管連 PR ブース